（様式２）

事業名　霞ヶ関港ラグジュアリー船誘致促進事業

対象港湾名　霞ヶ関港・〇〇地区

１．事業実施者に関する事項

１）計画策定者に関する事項		
事業者名	※地方自治体、民間事業者等の名称を記載 霞が関港クルーズ振興協議会	
担当者情報	所属/役職	氏名
	霞が関市港湾商工部クルーズ振興課　課長	霞が関　太郎
	メールアドレス	電話番号
	cruise@city-xx.lg.jp	012-3456-7890
	住所	
	〒123-4567　霞が関県霞が関市港町2-1-3	

２）事業実施体制に関する事項

（代表）
霞が関港クルーズ振興協議会　会長　霞が関次郎
（役割分担）
各種事務手続き：霞が関市港湾商工部クルーズ振興課
海外見本市出展：霞が関市港湾商工部クルーズ振興課　2名
　　霞が関観光コンベンションビューロー　１名
寄港地観光コンテンツの造成：霞が関県観光産業課、霞が関港振興協議会、霞が関港湾商工部クルーズ振興課、霞が関コンベンションビューロー、委託事業者
ターミナルの改修：〇〇税関、〇〇入国管理局、〇〇検疫所、地元交通事業者等と連携
　　霞が関司港湾商工部港湾整備課（設計・施行管理）
（資金）
霞が関市：霞が関県＝１：１
※霞が関市と霞が関県から霞が関港クルーズ振興協議会へ負担金を納入し、協議会より委託事業者等へ支払いを行う。
　発注については霞が関港クルーズ振興協議会が実施する。

２．計画期間に関する事項

計画期間	令和８年度～令和１０年度

３．当該地域におけるクルーズに係る計画

<table>
<tr><td rowspan="6">計画の
全体像</td><td>＜背景＞
※当該地域におけるクルーズ振興に関する全体の背景を簡潔に記載ください。</td></tr>
<tr><td>霞が関港は、人口約5万人の地方都市に位置し、中国や韓国からも近いためファーストポートやラストポートとなるケースが多いのが特徴であり、クルーズ船が着岸できる水深10mの岸壁を有している。このため令和5年度より小型ラグジュアリー船の寄港が始まり、現在は年間５回程度の寄港実績がある。寄港時には乗客1名あたり平均１万円の消費があり、地域経済への波及効果も確認されていることから、今後も小型ラグジュアリー船の寄港回数を増加させることを霞ヶ関市観光振興計画において掲げている。</td></tr>
<tr><td>＜課題＞
※補助対象事業に関わらず当該地域におけるクルーズ振興に関する全体の課題を簡潔に記載ください。</td></tr>
<tr><td>旅客受入施設関係に関しては、霞が関港には既存の旅客ターミナルがあるものの、フェリー対応として整備されたことからCIQ対応スペースが不足しており、クルーズ船寄港時のCIQ対応は仮設テントで行っており、手続きに時間を要し乗客の観光時間が制約されるなど、非効率な状況にある。ラグジュアリークルーズ船の乗客は富裕層が中心であり、快適な環境の提供が求められるため、既存ターミナルの改修について、船社やCIQ関係省庁からも改善要望が寄せられている。
寄港地観光に関しては、富裕層向けとなる地域の文化・歴史を深く体験できるプログラムが不足しているとともに、英語対応可能なガイドや受入事業者が限られている状況にある。
プロモーションについては、国際的なクルーズ見本市への出展実績もなく、船社への直接的な営業活動が十分とは言い難く、ネットワークの脆弱性と相まって船社からの認知度も低い状況との認識。</td></tr>
<tr><td>＜事業概要＞
※補助対象事業のみならず、それ以外の事業との連携などの計画も含めてその概要を記載してください</td></tr>
<tr><td>本事業計画は、クルーズ船の寄港拡大と地域経済の活性化を図るため、受入環境整備、観光商品造成、国際的な誘致活動を中核とした総合的な取組を推進するものである。補助対象事業としては、まずターミナル改修により、安全性・利便性の向上や動線整備、案内機能の強化を図り、多様なクルーズ旅客を快適に受け入れられる基盤を整備する。また、戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致を行い、外航船社との意見交換や国際クルーズ見本市への出展を通じて、本地域の魅力と受入体制を効果的に発信し、寄港機会の拡大につながる商談機会を積極的に創出する。さらに、富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成を通じて、地域の自然・文化・食を活かしたプレミアム体験を創出し、観光消費の増加と地域産業への経済波及効果を高める。
併せて、補助対象外の関連施策として、みなとオアシスとの連携によるおもてなし活動の充実、緑地PPPの推進による周遊性向上、地域独自のイベントや情報発信などを実施し、補助対象事業と調和した形で旅客満足度の向上や地域回遊の促進を図る。これらの各取組を有機的に連携させることで、受入環境の高度化、観光消費の拡大、船社との関係強化を総合的に進め、中長期的な寄港数増加と地域経済の持続的発展を目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">計画全体の目標</td><td>※寄港回数や消費額など当該地域における将来的な目標を定量的に記載ください。</td></tr>
<tr><td>全体目標（全体ＫＰＩ）について
目標１．ラグジュアリークラス寄港回数：15回（２０３０年）
目標２．クルーズ旅客数：3,000人（２０３０年）
目標３．消費額：1億円(令和２０３０年)
目標４．CIQ手続き時間の短縮：1名あたり5分→3分（令和２０３０年）

その他定性的な目標
・地域観光産業の活性化
・雇用の創出
・住民の地域文化への誇りと理解の深化</td></tr>
</table>

４．補助対象事業

＜事業実施内容＞
※本事業において実施する年度毎に事業内容を具体的に記載ください。予算の状況に応じて採択出来ない場合もございますが、次年度以降は本事業計画書をもって交付申請の手続きを実施したします。積算根拠につきましては当該年度に行う事業分をその年に提出いただきます。クルーズ船受入に伴う受入機能確保を実施する場合は、必ずソフト事業とセットで実施してください。

事業①

【事業内容】

霞が関港ターミナル改修事業

＜概要＞

ターミナル内のCIQスペース確保のため、間仕切り壁の新設・移設による動線の再構築、床・壁・天井仕上げなどを実施する。また、現在事務室・倉庫等として利用している区画の用途変更を行い、旅客待合エリアを拡張するため、既存間仕切り壁の撤去および新規間仕切りの設置によりオープンスペースを確保するとともに、床・壁・天井仕上げ材の更新、照明設備の増設・LED化の能力増強を実施する。

令和8年度　基本設計、実施設計
令和9年度　CIQスペース確保のための工事
令和10年度　旅客待合エリア拡張工事

＜事業目的＞

クルーズターミナルにおける旅客受入体制の強化を図るため、税関・出入国管理・検疫（CIQ）機能を適切に配置するための専用スペースを確保するとともに、旅客の滞留・混雑を緩和し快適な利用環境を提供するための待合スペースを整備するものであり、これら一連の改修により、安全性・利便性の向上と円滑な旅客動線の構築を実現することを目的とする。

＜成果目標・事業別KPI＞

CIQスペースの拡充により、クルーズ船寄港時の旅客処理能力を向上させ、入国手続きに係る待ち時間の短縮を実現することを成果目標とする。また、待合スペースの整備により、旅客の滞留密度を低減し、混雑の発生を抑制するとともに、適切な座席配置や案内表示等の改善を通じて利用者の快適性と満足度を向上させることを成果目標とする。さらに、旅客動線の効率化を通じて、安全で円滑な旅客受入れ環境を確保し、総合的な受入体制の質を高めることを成果目標とする。

事業②

【事業内容】

戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業

＜概要＞

本事業では、外航クルーズ船の新規誘致および寄港拡大を目的として、計画的かつ戦略的なプロモーション活動を段階的に展開する。
まず令和8年度においては、外航船社との意見交換を重点的に実施し、船会社の寄港ニーズ、寄港条件、顧客層の動向、求められる受入環境などについて直接的な情報収集を行うとともに、本地域の魅力や寄港メリットを丁寧に説明し、信頼関係の構築を図る。これにより、今後の具体的な営業提案や寄港調整に向けた基礎的な協議体制を整備する。
令和9年度には、北米市場におけるクルーズ企業とのネットワーク拡大を目的として、「シートレード・クルーズ・アメリカ」へ出展し、商談会やセミナー等を通じて船社担当者との直接交渉を行う。併せて、寄港地の魅力や受入体制の強化状況を紹介するプロモーション素材を多言語で作成し、北米市場に向けた積極的な情報発信を行うことで、新規船社の関心喚起と寄港候補地としての認知度向上を図る。
さらに令和10年度には、「シートレード・クルーズ・ヨーロッパ」へ出展し、欧州船社との商談機会を確保する。北米市場とは異なる欧州船社の事業戦略や航路特性を踏まえ、本地域に適した寄港提案を実施するとともに、個別商談やネットワーキングイベントを通じて継続的な関係構築を行う。
これらの取り組みにより、北米・欧州双方の市場において新規船社誘致の土台を形成し、中長期的な寄港増加につながるプロモーション活動を体系的に展開する。

＜事業目的＞

本事業は、本地域への外航クルーズ船の新規誘致および寄港拡大を図るため、国際的なクルーズ市場において船社との関係構築と情報発信を強化し、地域の魅力と受入体制を効果的に訴求することを目的とする。具体的には、船社との意見交換や国際クルーズ見本市への出展を通じて、寄港ニーズの把握、新規航路の創出、寄港可能性の向上を促し、長期的な寄港増加と地域経済の活性化につながる持続的な誘致基盤の構築を目指す。

＜成果目標＞

本事業では、外航船社との意見交換および国際クルーズ見本市への出展を通じて、海外船社への本地域の認知度向上と寄港地としての評価向上を図り、新規船社の誘致および寄港拡大につながる具体的な商談機会の創出を成果目標とする。また、船社のニーズ把握や受入体制に関する情報提供を継続的に行うことで、中長期的な寄港意向の醸成を進め、将来的な新規航路開設や寄港回数の増加につながる誘致基盤を確立することを目指す。

事業③

【事業内容】

富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成事業

＜概要＞

…

＜事業目的＞

…

＜成果目標＞

…

＜事業の実現性・過去の実績や事業実施に向けた調整状況＞

CIQ関係機関等と調整が進んでおり、ターミナル改修に向けた環境は整っている。ツアー造成等については従前より観光産業が活発なため地域事業者の受入意欲が高く協力的な関係が構築されている。協議会により船社ヒアリングを実施しており、ニーズの把握を行っていることや、地元の観光事業者のなかに過去にガイド研修を実施した実績があり、ノウハウが蓄積されているなど、事業全体における実施に向けた環境が整っている状況。

５．事業工程

事　業　内　容	個別目標 （事業別KPI）	令和８年度				令和９年度				令和１０年度			
		１／四	２／四	３／四	４／四	１／四	２／四	３／四	４／四	１／四	２／四	３／四	４／四
○○港ターミナル改修事業													
・基本設計、実施設計	進捗率100％												
・CIQスペース確保のための改築等	進捗率100％												
・旅客待合施設整備等	進捗率100％												
戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業													
・外航船社との意見交換	外航船社数○○社												
・シートレードアメリカへの出展	商談件数○○件												
・シートレードヨーロッパへの出展	商談件数○○件												
富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成事業													
・船社等FAMツアーの実施	FAMツアー実施回数○○回												
・地域歴史体験ツアー造成	造成ツアー数○○本												

６．その他の事業との連携

計画全体の目標を達成するために４．補助対象事業以外に一体的に行う連携事業等の内容について

・首長による海外船社へのトップセールス（R8～）
・みなとオアシスとの連携によるおもてなし活動の実施（R8～）
・クルーズ旅客の周遊促進に寄与する緑地ＰＰＰの推進（R8～）
・海釣り公園との連携（R8～）
・地元商店街や○○協議会との事業連携（R8～）

など

7．概算事業費

補助対象事業名毎に記載してください。

年度	補助事業名	補助メニュー	補助対象経費	補助対象経費	概算事業費（千円）	補助要望額（千円）
R8d	霞が関港ターミナル改修事業	基本設計、実施設計	⑧クルーズ船受入に伴う受入機能確保	測量設計費	8,000	4,000
R8d	戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業	外航船社との意見交換	④寄港地観光ツアー及び海上観光の造成・販路拡大	企画運営費	1,000	500
R8d	戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業	外航船社との意見交換	③寄港プロモーションの実施	プロモーション費	1,000	500
R8d	富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成事業	船社等FAMツアーの実施	④寄港地観光ツアー及び海上観光の造成・販路拡大	企画運営費	2,000	1,000
R8d						0
R8d						0
R9d	霞が関港ターミナル改修事業	CIQスペース確保のための改築等	⑧クルーズ船受入に伴う受入機能確保	本工事費	50,000	25,000
R9d	戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業	シートレードアメリカへの出展	③寄港プロモーションの実施	プロモーション費	15,000	7,500
R9d	富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成事	地域歴史体験ツアー造成	④寄港地観光ツアー及び海上観光の造成・販路拡大	企画運営費	15,000	7,500
R9d						0
R9d						0
R9d						0
R10d	霞が関港ターミナル改修事業	旅客待合施設整備等	⑧クルーズ船受入に伴う受入機能確保	本工事費	30,000	15,000
R10d	戦略的なプロモーション活動による新規船社の誘致事業	シートレードヨーロッパへの出展	③寄港プロモーションの実施	プロモーション費	6,000	3,000
R10d	富裕層向け高付加価値な寄港地観光ツアーの開発・造成事	地域歴史体験ツアー造成	③寄港プロモーションの実施	企画運営費	3,000	1,500
R10d						0
R10d						0
R10d						0

合計			
	R8d	12,000	6,000
	R9d	80,000	40,000
	R10d	39,000	19,500

８．事業実施箇所

※ターミナル改修事業の場合、実施箇所が分かる平面図等でお願いします。

※港湾周遊促進のための賑わい施設の整備を行う場合、対象エリアが分かる平面図等をお願いします。